



里親が育てる。
社会が支える。



立命館大学フォスタリング・ソーシャルワーク専門職講座 特別シンポジウム

里親のピアサポートを考える

日本では、家庭から離れて暮らす「社会的養育」を必要とする子どもは45,000人います。

その中で、地域の里親家庭で暮らす子どもはまだ少数です。

また、地域で里親や子どもがほかの里親家庭と交流したり、支え合う機会が多いとは言えない日本の状況を考えると、社会的養育の重要な担い手である里親家庭が社会から孤立して子育てをすることになりかねません。

そこで本シンポジウムでは、里親が地域で安心して子育てをするために必要な「ピアサポート」について取り上げます。

さらに、社会的養育という場合の「社会」のあり方について検討を加えます。多様な依存症からの回復に取り組む三重ダルクの実践に学びます。

三重ダルクではケアリーパーたちの生涯かけた回復にも取り組んでいます。

地域における多種多様なピアサポートや日本とオーストラリアの里親支援を交差させながら、ディスカッションを行います。



2021年7月19日 月 10:30~13:00

開催形式 オンライン(ZOOM) 定員 100名

◎お申込みは、応募フォームにてお願いいたします。

申込締切日 7月16日(金) 13:00まで



参加
無料

要事前
申込

登壇者

- ホップス 美香氏 (里親、モッキンバードファミリー・ハブホーム)
- Janelle Chapman氏 (Life without Barriers, Practice Consultant(MOCKINGBIRD FAMILY™ AUSTRALIA))
- 市川 岳仁 (NPO法人 三重ダルク代表、志摩イメージングラボ主宰)

モデレーター

- 中村 正 (立命館大学産業社会学部・人間科学研究科 教授)

司会進行

- 徳永 祥子 (立命館大学衣笠総合研究機構 准教授)

募集!立命館大学フォスタリング・ソーシャルワーク専門職講座3期生



「育ての親という生き方」をささえる里親支援のスペシャリストに



立命館大学フォスタリング・ソーシャルワーク専門職講座(助成:日本財団)では、2021年受講生(3期生)の募集を行っています。社会福祉、家族療法、心理臨床、社会病理などを統合した関連領域の知識と国内外の先進的な理念や実践を学び、人間理解力を身につけた思慮深く行動力のあるフォスタリングソーシャルワーカーを養成します。

今後の社会でより重要性を増す「子ども中心のフォスタリング・ソーシャルワーク」の先駆者・実践者になる方、特に各機関または地域のリーダーとして里親支援を向上させることのできる、やる気のある人材を広く募ります。

※新型コロナウイルスの影響により、基本的にオンラインでの実施予定です。

募集HP <https://fosteringsocialwork.com/>

応募期間 7月26日(月)まで

受講生
募集中